

2013

3月

第24号



ウツディとよた

通信

WOODY TOYOTA COMMUNICATION

特集 みんなで取り組んだ
森づくりの5年間
久木地域森づくり会議

ウツディとよた
通信
Quiz
クイズ

応募者の中から抽選で
素敵なプレゼント!!

【発行日】平成25年3月25日
【発行】豊田森林組合
〒444-2424
豊田市足助町横枕3番地1
TEL 0565-61-1616
FAX 0565-61-1617
〈Eメール〉
info@woodytoyota.net
〈ホームページ〉
http://www.woodytoyota.net/

特集

みんなで取り組んだ 森づくりの5年間

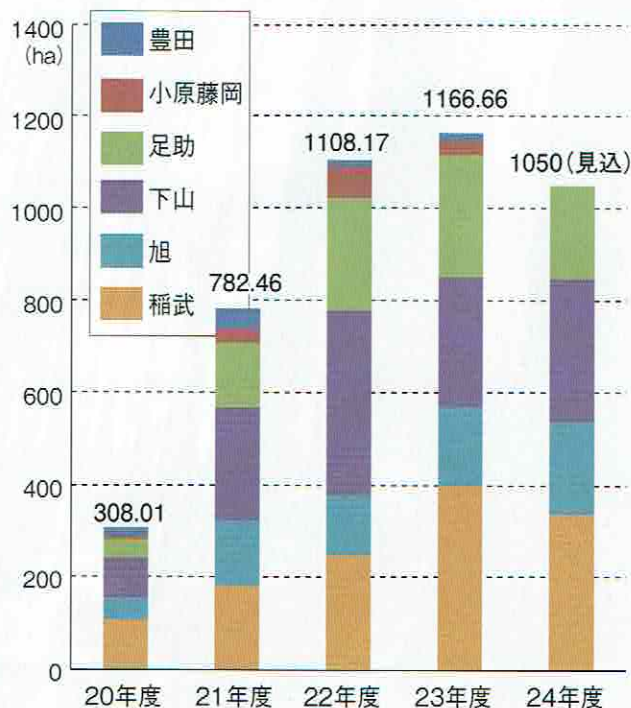
平成19年10月に豊田市で策定された森づくり基本計画に、団地化促進プロジェクトがあります。そのプロジェクトの目的は、「間伐を効率的に推進するために、地域森づくり会議の設立と団地化を促進する」とあります。「森づくり会議」「森づくり団地」の言葉はウッドイ通信でも時折登場するため、少しは親しみやすくなった言葉ではないでしょうか。

今回は、みんなで力を合せて進めてきた森づくりの5年間の成果を振り返ります。

■森づくり団地【年度別認定面積】

(平成25年3月1日現在)

平成20年度からスタートした森づくり団地も今年で5年目。森林所有者の皆さまのご協力を得て豊田市全域の団地認定面積は4,000haを超えました。



平成21年度から急激に団地面積を伸ばした背景にはこんな改革が…。

1 「森づくりグループ」で効率的に

豊田市森林課・豊田森林組合で森づくり団地の推進を専門的に行うグループを設置。

2 「緑のコーディネーター」で人材確保

森づくり団地の測量・調査等を専門とする臨時職員を採用。

3 デジタルコンパスの導入

レーザーで測量できるコンパスを導入することにより作業効率が倍増

■森づくり団地【地域別認定面積】

(平成25年3月1日現在)

稲武と下山は1,000haを超える認定面積となっています。足助・旭地区は1筆あたりの森林面積が小さいこともありなかなか大変なようです。豊田・小原藤岡地区は、できるところからコツコツと善戦しています。



■愛知県森と緑づくり事業【年度別間伐実績】

(平成25年3月1日現在)

森づくり団地の間伐に欠かせなくなった愛知県森と緑づくり事業。森林所有者さんの負担ゼロで40%の切置間伐ができるこの事業は、当初「40%も間伐して大丈夫かな?」と心配されていましたが、今では「山が生き返った!!」と大好評。



久木地域



森づくり会議の 取り組み



(久木地域森づくり会議の概要)

- ・森林面積／約208ha
うち人工林面積／約122ha
- ・森林所有者数／71人
うち久木地区在住者／43名
不在所有者／28名

今回は、地域別の森づくり団地認定面積で3番目に多い足助地区の中でも先進的に取り組みをされている「久木地域森づくり会議」をピックアップします。

この地域は、区域を6つのブロックに分け「久木1番」から「久木6番」団地までを6年間の計画で団地化していこうと考えています。

人工林の面積がさほど多くなく、1筆あたりの面積も小さいこの地域でありながら、70名を超える森林所有者の皆さんを取りまとめていかれる森づくり会議役員の皆さんには地域の森林を良くしていこうという熱意が感じられます。

久木地域森づくり会議進捗状況 (平成20年度設立)

平成24年度末
団地認定面積／99.73ha
間伐済み面積／46.89ha



久木地域森づくり会議を支える代表の宇井和男さん(表紙の人)に話を伺いました。

久木地域森づくり会議を立ち上げたきっかけは?
私たちは森林の恵みにより生かされている。現役を退職したら荒廃が進んでいる森林を整備しようと常々思っていました。これも自己所有の森林のこと。しかし、豊田市100年の森づくり構想を知り、人工林の団地化による地域全体の間伐の重要性を認識したこと。

代表に選出された理由は?
当時久木の自治会長という役職にいたので、地域との関わりが深かったためではないか。

- はじめに取りかかったことは?**
- 森づくり会議を開催して、地域の団地化計画の策定(平成20年6月)
 - 次に、入り口の杭入れ作業を進めるための資料として、所有者名を入れた森林の公図作成(平成20年6月)
 - 関係者による初の杭入れ作業を、「久木」と尾根境の「菅生」とで合同で実施(平成20年8月)

進めるにあたって苦労したことは?
杭入れ作業で団地ごとの責任者を決めて進めるよう話し合っても計画どおりには進まないこと。リーダー役と山を知る協力者の力が絶対必要。

やってみて良かったと思われることは?
既に個人で管理して間伐が進んでいる森林所有者からの理解・協力を得ることができ、地域全体の間伐が進むこと。そして杭入れ作業をきっかけとして、山を知らない50代から60代前半層の意識が変わったことや、やはり間伐によって森林が生き生きしてきたこと。困難と思われていた作業道の開設も進みそうなこと。

これからの森づくりに取り組もうとする皆さんに一言
人工林の間伐は、いまに生きる者の避けては通れない課題だと思っていますので、ぜひ豊田市の森づくり支援制度が続くうちに実施されたい。豊田森林組合は皆さんの相談から杭入れの協力まで、全力で応じていただけると思う。

国内の木材の現状

■木材需給・価格の現状

○木材供給量は、昭和48(1973)年をピークに減少傾向。平成21(2009)年は世界的な金融危機による消費低迷等の影響で急激な落ち込み。平成22(2010)年以降は経済対策等の効果によりやや回復。

(図1/棒グラフ)

○国産材の供給量は平成14(2002)年を底として増加傾向にあり、木材輸入は減少傾向。また、木材輸入形態は、丸太から製品にシフト。

○木材自給率は、平成14(2002)年以降は上昇傾向で推移し、平成23(2011)年は26.6%。

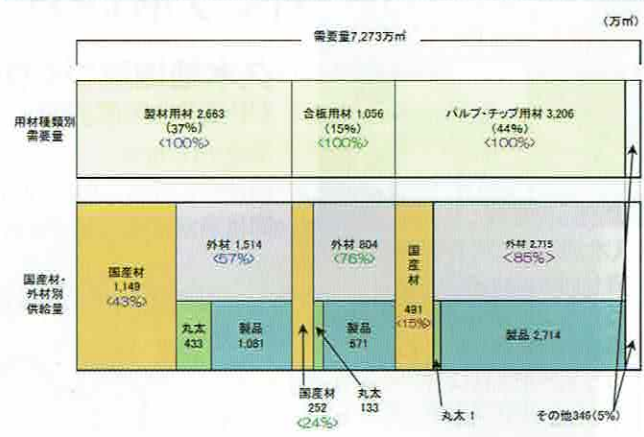
(図1/折線グラフ)

○平成23(2011)年の木材需要量の37%は製材用、15%は合板用、44%はパルプ・チップ用であり、それぞれの国産材の割合は43%、24%、15%(図2)

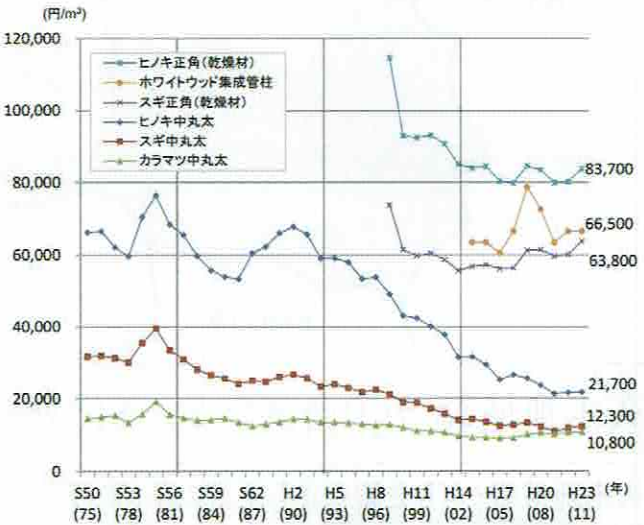
○丸太価格は、昭和55(1980)年をピークとして長期的に下落傾向にあるが、近年は横ばいで推移。(図3)

○製品では、構造用材としてスギ正角(乾燥材)とホワイトウッド集成管柱が競合。(図3)

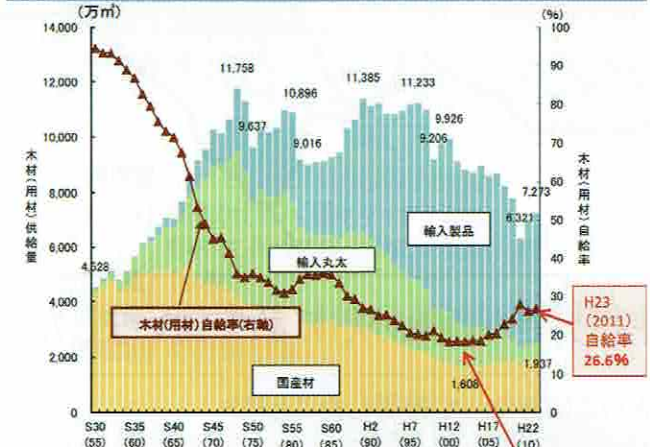
木材の需要構造(平成23年(2011)年) (図2)



木材(丸太、製品)価格 (図3)



木材(用材)の供給量の推移 (図1)



資料: 林野庁「木材需給表」
注: 数値の合計値は、四捨五入のため計と一致しない場合がある。

木材
センター
だより

11月以降2月当初の市売りは、平均単価11,000円台/m³と安定しています。年度末も近く、利用間伐地は団地、自力間伐共に実績を確定する時期に入っており、木材センターも追い込みに入っています。

現在の団地化施業による切置間伐、利用間伐を実施することで、5年～10年後には間伐の際に、どの木を切るべきか迷うほどに成長をしたいと思います。森林組合木材センターの素材取引量も年々増加してゆき、今後土場に置く場所が無くなって困ってしまう程なることを期待しています。

需要の変化や価格の変動は読めませんが、迅速に情報収集をし、素早い対応で、材木なら木材センターと、評判になるように木材センター一同頑張っております。



委員会が発足しました。

第3期役員の仕事による専門委員会が立ち上がりました。

この委員会の目的は2カ月に1回開催している理事会を円滑に進めるための検討と協議の場です。第3期役員改選を契機に本所課ごとの総務・森林整備・林産の3部門の委員会を発足しました。

各委員の分担と、委員会の内容を紹介します。

総務委員会の紹介



当組合も合併後3期目となり、理事会においても不安定な国産材の需要不振、材価の低迷等が続く状況の中、組合事業推進に向けた取り組みとして委員会規程を整備し、各分野毎に専門的に重点協議を行うことにより、組合本来の目的である森を守り育てるための議論を重ねることにより良い組合運営に貢献出来る委員会として尽力していきたいと思っております。

今後とも関係皆様の御指導をお願いします。

総務委員長 築瀬 壽一

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 委員
(順不同) | 委員長／築瀬 壽一 |
| | 副委員長／川井 京一 |
| | 川合 秀二、原田 茂男、鈴木 重郎、塚田 光生、山本 幹郎 |

森林整備委員会の紹介



「森づくりと間伐施業の推進」についてのテーマで開催をしていきますが、私をはじめ委員6名は全員新任であり、まずは各委員が森林整備業務について学ぶことが求められますので、第1回は勉強会を行いました。

人工林の間伐は、いまは避けては通れない課題だと思っていますので、市内の地域事情に沿った森づくりが広範囲で推進されるよう努めてまいります。

森林整備委員長 宇井 和男

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 委員
(順不同) | 委員長／宇井 和男 |
| | 副委員長／丸山 裕三 |
| | 鈴木 久仁、勝原 照明、加藤 秋直、鈴木 充彦 |

林産委員会の紹介



「山の木を売ったけど、ほとんどが伐り出し経費で木材代金が少ししかもらえなかった。」「太い間伐材が切り捨てでもったいないなあ。」といった声々が林業・組合員・森林組合を巡る実態です。

長い間、木材価格がほぼ下り続けており、生産経費と同じくらい(1㎡当たり1万円前後)にしか売れないからです。森林組合の職員が怠けている訳ではありません。

林業と関連する産業は、長期の経済不況、住宅建設不振、安価で品質の良い外材のシェア拡大などなど、極めて厳しい業況にあります。

決して容易に解決出来る課題ではありませんが、木材生産の低コスト化、安定した販売先の確保、林業の採算性向上などを、組合現場職員、県・市の担当者の意見を聞きながら検討しています。

出来ない理由を考えるよりも、どうしたら半歩でも前に進むかを考えて取り組みます。

林産委員長 松田 敏明

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 委員
(順不同) | 委員長／松田 敏明 |
| | 副委員長／近藤 礼二 |
| | 後藤 武久、山内 良夫、山内 昭一、宇野 祥敏 |

事務局レポート

「セミプロ林業作業者養成講座」

10月27日から10回にわたって開催した「セミプロ林業作業者養成講座」が2月に終了しました。森林の仕組みを学ぶ座学から始まり8回の現場研修を経て、初めてチェーンソーを持つ受講生達もだんだん間伐作業に慣れてきたようでした。作業にも少し自信が出てきたところで講座は終わってしまうので、受講生の気持ちはまだ山にある様子。受講前は「自分に務まるか」「林業ってどんなものか」と半信半疑で参加されていた方も、「これからも山と関わりたい!」と心に変化があったようです。この講座を通じて、地元で山仕事をする人や、1ターン・Uターンの林業就業者が少しでも増えたら嬉しいです。来年度も11月初旬から同様の講習をしますので、興味のある方はご連絡ください。



チェーンソーでの間伐研修



出材研修

とよた森林学校
(2013年度)

参加者募集!

山主森林経営講座

～現在の林業と山の楽しみを教えます～

【日程】5月12日～9月15日の土日(全8回)

【主な内容】森林の仕組み、原木マイタケ栽培、
巻枯らし間伐体験、団地による出材事例の紹介等

【定員】10名

【参加費】8回分一括 8,000円(別途マイタケ原木代)

【申込締切】4月19日(金)

間伐してベンチをつくり寄付しよう

～間伐材を活用してみよう～

【日程】5月25日、9月28日、10月12日、26日(土)

【内容】山での間伐体験から、製材機の利用講習、
墨入れ・組立て・仕上げの一連の作業をおこない、
完成品を公共施設へ寄付します。

【定員】10名

【参加費】4回分一括 4,000円

【申込締切】5月7日(火)

※講座の第2回に出席された方は、今後も組合所有の
簡易製材機を使用できます。(有料、組合員割引あり)

森林セミナー

～いろいろな角度で森林を考えよう～

【日程】5月5日、19日、6月2日、9日(日)

【内容】第一線で活躍する先生のもと、半日ずつの講義と観察を
通して、過去の森林環境を知り、今後の管理の在り方を
考えます。

【定員】40名

【参加費】4回分一括 2,000円

【申込締切】4月15日(月)

夏休み昆虫観察会

～自然をもっと楽しもう!～

【日程】7月28日、8月11日(日)

【内容】ブナ林にすむ昆虫と、きれいな川にすむ
生き物を探します。

【行き先】第1回 稲武町 面の木峠

第2回 稲武町 大井平公園

【定員】20名 ※小学校低学年の子は保護者同伴

【参加費】2回分一括 2,000円

【申込締切】7月5日(金)

○講座内容はホームページからもご覧いただけます。また、ご希望の方にはパンフレットをお送りします。

【問合せ先】とよた森林学校事務局(豊田森林組合内) TEL 0565-61-1618

とよた森林学校

検索 クリック!

くみあ Hot News ホットニュース い

間伐材で作成したベンチが公園に設置されました

豊田森林組合で作成したベンチが浄水町内の「かえで公園」に設置されました。

このベンチは座面が1枚のスギ板で作られており、手前側は丸太の形をそのまま活かしています。

材料となった木は、平成23年に下山地区の梨野町で作業道を開設する際の支障木として伐採された木で、直径は末口50センチほどでした。

作成した担当職員に聞くと「間伐材でも大径の木があります。このベンチは建築用材に適さない丸太で作りました」とのこと。これから長い間、多くの人に座ってもらえると嬉しいです。



↓ 製品になる前の丸太

香嵐溪のモミジの間伐を実施

平成19年度から始まった香嵐溪の整備が今年も行われました。

昨年度まではスギ・ヒノキの間伐・枝払いが中心でしたが、今年の整備は主にモミジやサクラ等の広葉樹の間伐でした。

駐車場付近やカタクリ自生地の中で、木の中心や一部が枯れてしまった木を伐って、周りの木の成長域と歩く人の安全を確保しました。すっきりときれいになった香嵐溪に遊びに来てください。



↑ お地藏さんの周りも整備されました。

← 木に登り、上から枝・幹を刻み、ロープで降ろしていきます。

足助交流館の柳を剪定しました

足助町の中心部にある足助交流館で高所作業車を使った特殊伐採を行いました。

交流館に隣接する体育館裏の大きくなった柳の剪定を、依頼された大きさまで行いました。

剪定された枝は、百年草や商店街の方がこぞって持っていかれ、中馬のおひなさんを飾る「餅花」として鮮やかに生まれ変わりました。



← 高所作業車を使った特殊伐採



→ 中馬のおひなさんを飾る餅花

Q ウッディとよた 通信 Quiz No.3 クイズ

応募者の中から抽選で
10名様に素敵なプレゼント!!
(今月は組合取り扱い商品2点から
選べます)

(問題)

5年間の豊田市全域の
森づくり団地認定面積は
○,○○○haを超えました。

応募
方法

応募用紙で
応募する 応募用紙にクイズの答え、必要事項を
ご記入のうえ、お近くの豊田森林組合に
提出して下さい。

ハガキで
応募する ハガキにクイズの答え、
必要事項(氏名、郵便番号、住所、電話番号、希望賞品)を
明記のうえ、下記までご応募ください。

応募先 / 〒444-2424 豊田市足助町横枕3番地1
『ウッディ通信クイズ』宛まで ご応募ください。

応募資格 豊田森林組合 組合員に限ります。

応募締切 平成25年4月31日まで
※ハガキでの応募は当日消印有効

当選発表 当選者の発表は賞品の発送をもって
代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は賞品の発送のために使用します。
その他の目的に使用することはありません。

《クイズ応募用紙》 No.3

答え、 ○,○○○ ha 超

希望賞品 A・B (どちらかを○で囲んでください)

氏名

住所

○組合に対するご要望など

《クイズの賞品》

A 間伐材ヒノキで作った 輪投げ



横 幅 200mm
奥 行き 130mm
高 さ 270mm

足助の木材センターに出荷された木材を、豊田森林組合で製材し、名古屋市内の「夢工房」さん(障がいのある方が働く施設)で型抜き・製品化されたきりんの輪投げです。

子どもから大人まで楽しめる、愛らしい輪投げです。ご家庭にひとつ置いてみませんか。

通常は豊田森林組合本所(足助)とモッキー(稲武)で販売しています。(ひとつ1,800円)

木目やキリンの表情は一つ一つ違いますので、どんな子が届くかは、賞品が届くまでのお楽しみです。

B 下山産 乾しいたけ



※写真イメージとは若干異なる場合がありますので、ご了承ください。

豊田市の下山地区は昔から原木しいたけ栽培が盛んな地域です。

原木に植菌してから2年の歳月の間、下山の雨・風・雪といった自然が、原木しいたけをやさしく育て、乾燥して濃厚で香り高い「乾しいたけ」ができました。

自然の恵みたっぷりの「乾しいたけ」をどうぞご賞味ください。

通常は、豊田森林組合本所(足助)、下山支所、小原支所、他各支所とモッキーで販売しています。一袋500円~1,000円で大きさ・形・量は数種類を取り揃えております。

今回の賞品は、送料込で2,000円相当分の乾しいたけを箱入りでお送りします。

●お問い合わせ

豊田森林組合総務課
〒444-2424
豊田市足助町横枕3番地1
TEL 0565-61-1616
FAX 0565-61-1617
E-mail : info@woodytoyota.net



●お願い

豊田森林組合の組合員の皆さんで、住所の変更や相続などで土地所有者名義等に変更があった場合には、変更届けを90日以内に提出して下さい。お願いします。